



2021年12月23日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代表者名 代表取締役 武内 博文
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 管理・経営企画部門長 須藤 正樹
(TEL. 052-446-6100)

胃食道逆流症治療薬tegoprazanの米国におけるサブライセンス契約のお知らせ

本日、当社の導出先であるHK inno.N Corporation（本社：韓国ソウル市、代表取締役：Seok-Hee Kang、以下「HKイノエン社」）は、当社からHKイノエン社へ導出した胃食道逆流症治療薬tegoprazan（韓国販売名（韓国登録商標）：K-CAB[®]、以下「tegoprazan」）につきまして、HKイノエン社が米国およびカナダの2カ国（以下「北米地域」）でサブライセンス契約を締結したことを公表しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

このたび、HKイノエン社がサブライセンス契約を締結したのは、米国のBraintree Laboratories, Inc.（本社：米国マサチューセッツ州ブレインツリー市、以下「ブレインツリー社」）です。ブレインツリー社は米国の製薬会社Sebela Pharmaceuticals, Inc.（本社：米国ジョージア州ロズウェル市、以下「セベラ社」）の子会社であり、消化器疾患治療薬の専門企業です。今後、ブレインツリー社およびセベラ社の開発力および販売力を背景に、tegoprazanの北米地域における展開が期待されます。

Tegoprazanは、当社が創出したカリウムイオン競合型アシッドブロッカー（Potassium-Competitive Acid Blocker：P-CAB）と呼ばれる新しい作用機序の胃酸分泌抑制剤です。P-CABは、胃食道逆流症治療の第一選択薬であるプロトンポンプ阻害剤（PPI）とは異なるメカニズムで、PPIよりも速やかに、かつ、持続的に胃酸分泌を抑制することから、PPIに代わる新しい酸関連疾患治療薬となることが期待されています。Tegoprazanは、HKイノエン社により販売名「K-CAB[®]」として2019年から韓国で販売されており、2021年の韓国国内売上（院外処方実績）にして1,000億ウォンを突破することが見込まれる大型製品となっています。

今後は、ブレインツリー社が北米地域におけるtegoprazanの開発と承認取得に向けた取り組みを実施します。世界の消化性潰瘍治療剤の市場規模は約2兆円で、米国はそのうちおよそ2割を占めると推測されています。現在、北米地域で販売されているP-CABはなく、同地域での胃食道逆流症の治療には主にPPIが用いられています。しかし、PPIでは効果がみられない胸やけ症状や食道粘膜障害

を持つ患者が約40%を占めるなど、PPIを用いた治療の限界が指摘されています。Tegoprazanが胃食道逆流症治療の新たな選択肢としてこれらの未充足ニーズの解消に貢献することを当社は期待しております。

本サブライセンス契約の締結に伴って当社が受け取る契約一時金収入はございませんが、当社は、HKイノエン社とのライセンス契約に基づき、開発段階の進展に応じたマイルストーンとして総額にして数億円、および一定料率の販売ロイヤルティを受け取る権利を保有しております。

当社は今後も引き続き、HKイノエン社との連携をより強固にし、開発支援並びにサブライセンス契約支援を継続して実施し、tegoprazanによる胃食道逆流症治療の選択肢を広げることで、患者さまのQOLの向上に一層貢献できるよう努めてまいります。

なお、本件により、当社が2021年12月20日に公表した2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）通期連結業績予想に変更はありません。当社は、本サブライセンス契約によって販売地域が北米地域に拡大されることにより、中長期的に当社の企業価値の向上に寄与するものと考えております。

以 上